



自転車部

10月14日に岡山国際サーキットで行われた耐久レースに出場し、全32チーム中、Aチームが16位、Bチームが13位で、目標の「半分より上位の成績」を達成できました。日頃の練習量を増やし、来年は順位1桁を目指します。



野球部

2019年度も神戸クローバーリーグに参戦。社会人草野球チームと月1、2試合を行っています。11月10日現在、5勝6敗1分でリーグ4位(全8チーム)。12月7日に開催された恒例の「トヨタ3校親善野球大会」は0勝2敗でした。



バレーボール部

神戸研究学園都市大学交流戦に参加し、近隣の大学等と対戦しています。神戸市バレーボールクラブ選手権大会にも出場しています。ここ数年は勝っていないので、次の試合こそは勝利をつかみたいですね。

自動車部

原付バイクのバッテリーを搭載した自作の車で40分間の走行距離を競う「2019エコデンレース」に出場。69チーム中、16位で昨年より2つ順位を上げることができました。新入部員は随時募集しています。



水泳部

4月～12月に参加した全6大会で個人の優勝4回を含む多数の上位入賞を果たしました。今後も好成績を残せるよう練習に励みます。

「カートフェスティバル」にスタッフ参加

10月13日、神戸スポーツサーキットで開催されたネットトヨタ兵庫(株)主催の「カートフェスティバル」に、当校の学生がスタッフで参加。「ミニ四駆」「キッズエンジニア」のブースを担当しました。プロレーシングドライバーの中嶋一貴選手、蒲生尚哉選手、坂裕之選手によるカートのデモ走行や同乗走行、トークショー、サイン会などもあり、多くの来場者でにぎわいました。



トライやる・ウィークで中学生を受け入れ

今年も地域貢献事業の一環として、10月28日～11月1日と11月11日～15日に伊川谷・太山寺・平野・夢野・玉津・長坂中学校の生徒計12名を各5日間受け入れました。実習作業ではエンジンオイルの交換、エンジンの分解や組み付けなどをしました。生徒からは「タイヤローテーションが成功した時はとてもうれしかった。みんなと協力しながら、とても達成感を感じた」といった感想が聞かれました。来年度も多くの生徒を受け入れる予定です。



当校公式Twitterにフォローを日頃の授業や行事などの様子を写真付きで発信しています。「フォロー&いいね!」してください。アクセスはこちら➡



卒業生の方へ近況報告ページをご活用ください

当校ホームページに卒業生の近況報告ページを設置しています。「コンクールに出場します」「リーダーをしています」「店長になりました」といった活躍の報告、仕事や職場での悩み事相談などに利用してください。

●トップページ最上段右「卒業生の方へ」➡ページを下へスクロールして「近況報告フォーム」のボタンをクリック

4Kテレビが寄贈されました

当校が取り組んできた献血活動に対するお礼として、献血サポーターである神戸兵庫シティライオンズクラブ様から65型4K液晶テレビが寄贈されました。学生食堂に設置し、デジタルサイネージとして活用します。

新任職員



①前の職業 ②所属部署
③趣味・特技 ④これからの意気込み

総務部 六島 裕子

- ①IT関連
- ②総務部
- ③ラリー観戦、サイクリング
- ④システム保守を通して、縁の下の力持ちとして皆さんのお役に立てよう頑張ります。

学校法人トヨタ神戸整備学園 トヨタ神戸自動車大学校/トヨタ神戸自動車大学校同窓会
〒651-2102 神戸市西区学園東町4丁目1番地 TEL:078-796-2121 URL▷https://www.toyota-kobe.ac.jp

2019年12月20日発行 発行責任者: 山口 裕行



55
2019.12.20



学園祭2019 Toyota Kobe School Festival!

10月11日、12日の2日間の予定が、台風19号の影響で12日が中止に。1日だけの開催となりましたが、例年通りに活気あふれる雰囲気になりました。

技術・技能コンクール

2年生がクラス対抗で故障探求や点検作業の技術を競い合い、高度自動車科2組が優勝しました。各クラスの応援のほりは力作ぞろいで、こちらも見ものでした。



整備スキルコンテスト

各クラスの代表選手がドラムブレーキの分解組み付け作業の速さ、正確さを競いました。特に決勝戦は高レベルの大接戦で、高度自動車科4年生の小西雅也さんが見事優勝しました。



軽音ライブ・卓球大会

ライブには1、2年生の2バンドが出演。ロックやパンクのナンバーが演奏される中、顧問の先生も飛び入りするなど大いに盛り上がりました。今年初開催の卓球大会には、各クラス2名の代表者がシングルス・ダブルスのトーナメントに出場。決勝戦は白熱の攻防が繰り広げられました。



イベントステージ

クラス対抗のイントロ早押しクイズや激辛焼きそば早食い競争を開催しました。



留学生の模擬店

ベトナム人留学生が2店舗、中国人留学生が1店舗を出し、それぞれの郷土料理を振る舞いました。



車両展示

注目を集めたのが、17年ぶりの復活となった新型スープラと車体整備専攻科でレストア中のAE86。また、トヨタ独自の安全技術「TSS」などを体験できるシミュレーターには順番待ちの列ができました。



Congrats!

メカニック体験 MECHANIC EXPERIENCE

NASCAR

7月14日～28日、アメリカでのNASCAR研修に参加させていただきました。ピットではタイヤ交換やレース車両の製作をしました。車両製作はレースカーの細部にまで触ることができ、とても勉強になりました。レース本番、私はタイヤ交換の最後のトルク締めを担当しました。焦らず落ち着いて作業することができ、自分の仕事を全うしました。トヨタ3校で力を合わせて最後までやり抜き、チームワークの大切さを学べました。この経験を残りの学生生活や卒業後に役立てていきたいです。



須田 龍慶 (高度自動車科2年)

86/BRZ Race

10月16日～20日に岡山国際サーキットで行われた86/BRZ Raceに、ネットヨタ兵庫さんのチームにメカニックとして加えていただきました。タイヤ交換や車両のメンテナンス、タイム計測などさまざまな経験をさせていただきました。作業を通してレースの世界の厳しさを痛感するとともに、レースメカニックの技術力の高さに感動しました。そして、プロとして責任を持ちながら一つ一つの作業を行うことの大切さを学びました。授業でもプロ意識を忘れることなく、今後の学生生活を過ごしていきたいと思います。



木下 恵太朗 (高度自動車科3年)

インターンシップ

翌年の就職に向け、高度自動車科4年生が1カ月半、自動車整備科2年生は1週間の就業体験をしました。

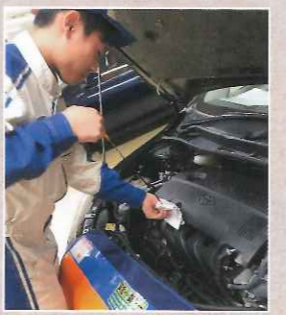
藤原 悠人 (高度自動車科4年)

私は、鳥取トヨペット(株)米子店でオイル交換や定期点検などの多頻度作業に加え、ガラスコーティングやリコール作業のお手伝いなど、学校ではできないさまざまな作業を体験しました。インターンシップを通して、限られた時間の中で正確、丁寧に作業することの難しさを実感し、工具の正しい掛け方や力の入れ方などの基本的な部分をしっかりと身に付けることの大切さを再認識しました。



谷平拓海 (自動車整備科2年)

私は広島トヨペット(株)祇園店にお世話になりました。インターンシップ前日からとても緊張していましたが、分らないことや疑問に思ったことがあればすぐに相談に乗っていただき、楽しく働くことができました。オイル交換、12カ月点検、交換作業、リコール車の点検整備などをさせていただきました。作業や点検のこつがつかめるなど、学校ではできないことを体験しました。インターンシップで学んだことを学校生活、来年4月からの就職先で生かしたいと思っています。



研修旅行

松本 龍次 (高度自動車科4年)

11月4日から5泊7日でロサンゼルスとラスベガスに行ってきました。ロサンゼルスではトヨタディーラーを見学し、そのスケールの大きさに驚きました。日本のディーラーと大きく異なるのが、アメリカのディーラーでは新車を多くストックしており、購入したその日に乗って帰ることができるそうです。また、アメリカでは車検がなく、日本よりもエンジン内部のトラブルが多いことからエンジン専門の整備士もいました。自由行動では、エキゾチックスレーシングというレース体験施設で、高級スポーツカーのランボルギーニウラカンに乗ってサーキットを走りました。旅行中、英語が分からず、多くの場面で損をしていると感じたので、今後のためにも英語の勉強に励みたいと思います。



林 翔太 (高度自動車科1年)

10月29日～30日に東京へ研修旅行に行きました。初日は、MEGA WEBで飛行性能やAIなど高い技術が集結した展示を見学しました。2日目は東京モーターショーに行きました。これまでにない発想による「車がつくる新しい形の温かい暮らし」に触れることができ、とても刺激のある有意義な時間を過ごせました。2日間で多種多様な技術力を体感した経験で、今後の学校生活に生かせるよう奮励努力していきたいです。



ショールームスタッフ科1年生一同

私たちSS科1年生は名古屋へ行きました。トヨタ会館に続いて、トヨタ自動車の元町工場では組み立て工程と塗装工程を見学しました。一つ一つの部品を取り付ける作業やカンバン方式による生産工程の管理など、初めて見るものばかりで大変勉強になりました。さなげアドベンチャーフィールドでは、転倒した車両から自力で脱出するというスリル満点の体験を通して、シートベルトの必要性について考え直すことができました。最後に、ミッドランドスクエアにあるトヨタ自動車のショールームで先輩スタッフの仕事を見学し、卒業後の自分の姿をイメージしました。素敵なショールームスタッフを目指して、お客様対応のスキルを磨き、車の知識を身に付けられるよう授業を頑張りたいです。



TECHNICAL LECTURE

自動車メーカー技術講演会

新型スープラの開発

11月25日、トヨタ自動車(株)GRプロジェクト推進部プロジェクトマネジメント室主幹の福本啓介様をお迎えし、高度自動車科3、4年生を対象に「新型スープラの開発秘話」をテーマに開催しました。サーキット走行だけでなく、ドライブレベリングを大切にするため、ヨーロッパの公道でもテストを繰り返したことやドイツ車との仕様の違いなど、BMWと共同で開発したからこそそのメリットや苦労など、さまざまな話を聞かせていただきました。また、実車を見ながら日本車にはない構造やこだわりのパーツなどについても説明していただき、学生たちは真剣な表情で聞き入っていました。



コペン開発秘話

10月4日、ダイハツ工業(株)管理本部広報・渉外室主査の藤下修様をお迎えし、高度自動車科3、4年生と車体整備専攻科の学生を対象に、「コペンの開発秘話」をテーマに開催しました。開発に至った経緯から関係者の思いまで、その熱い内容に、学生たちははたか興味を引かれた様子でした。技術的なことはもちろん、熱意を持って仕事に取り組むことの大切さを学ぶ機会となりました。



CONTEST 第2回トヨタ3校整備コンテストを連覇

トヨタ自動車大学校3校が持ち回りで開催する整備コンテスト。今年は11月16日に当校1階実習場で開催しました。各校から3チーム(1チーム3名)が出場し、点検作業と計測作業を3回戦で競い合いました。選手たちは放課後、時間の許す限り練習を重ね、技術を磨いて大会に臨みました。多くの方が応援に駆け付け、緊張感が漂い、選手たちは練習の成果を発揮し、正確かつ安全な作業を披露。結果は当校の「Lightning Sakai」チームが優勝し、会場に祝福の拍手が鳴り響きました。



順位	チーム名	選手名
1位	Lightning Sakai	平松悦司(高度科2年) 稲坂竜二、芝田裕哉(自整科2年)
3位	チームC	後藤健斗、西川斗威(高度科2年) 三森颯(自整科2年)
4位	トップクルー3銃士	高橋由伸、金本秀則、辻井賢太郎(自整科2年)

“AE86レビン”レストア進行中 LEVIN

車体整備専攻科の学生たちは来年2月14日～16日に開催される「大阪オートメッセ」への出展に向け、1987年式 AE86レビンのレストアに取り組んでいます。車体を分解してホワイトポデーにし、各パーツを徹底的に磨いた後、消耗部品の交換、下地処理や塗装作業を行いました。穴空きや変形している箇所は、専用の機器と溶接技術を駆使して修繕しました。年明けから作業はラストパートに入ります。ぜひ、大阪オートメッセで完成車を見てください。また、次年度のレストア車両として初代トヨペットクラウンを準備しました。



就職ガイダンス&セミナー

2021年3月卒業生を対象に、11月15日に就職ガイダンス、27日～29日に企業研究セミナーを実施しました。ガイダンスではネットヨタ兵庫(株)サービス営業部部長の鈴木豪様に「企業の求める人材」をテーマに学校生活の間に準備すべきことや、入社試験で企業は学生のどこをチェックしているかなどを話していただきました。セミナーにはトヨタ販売会社を中心に、求人企業146社にお越しいただき、学生たちは希望する企業の説明を聞きましました。今年初めてショールームスタッフ科の学生と外国人留学生を対象としたセミナーも実施しました。

三友寮バーベキュー大会 BARBEQUE

久保田 聡哉 (高度自動車科3年)

9月28日、三友寮でバーベキュー大会を開催しました。天候にも恵まれ、寮生活委員を中心に多くの寮生が参加しました。数種類の肉のほか、食堂の方に提供していただいたおにぎり、焼きそばなどをお腹一杯に食べ、参加者全員が「おいしい」と満足しました。今年は何年にも比べて参加者が少なかった分、普段交流する機会の少ない他クラスの方や他学年の方とも親睦を深められ、充実した時間を過ごせました。来年度はさらに良い大会にしたいと思いますので、ぜひ参加してください。

